

特集

経済産業部

Special Edition

オールジャパンで目指せ！アジアマーケット 第1回 沖縄大交易会・併催事業を実施

かつての沖縄が琉球王国として、その地理的優位性を活かし、アジアにおける海洋国家として繁栄していたように、今日でも、急速に発展するアジアマーケットと日本を繋ぐ「アジアゲートウェイ」としての沖縄国際物流ハブの機能強化が、官民一体となって推進されています。

この取組の一環として、日本最大規模の国際食品商談会「第1回沖縄大交易会（主催：沖縄県、沖縄懇話会）」が11月27日（木）・28日（金）の2日間、沖縄コンベンションセンター及び宜野湾市立体育館において開催されました。本交易会では、日本全国から200社（県外企業114社、県内企業86社）のサプライヤー、16カ国・地域と国内のバイヤー162社（海外90社、国内72社）が参加し、個別商談会では約1900件の商談が行われました。

沖縄総合事務局では、併催事業として以下のイベントを同時開催しました。



〔個別商談会（提供：沖縄大交易会運営事務局）〕

●ブローガーが発信

「OTORIYOSSEMARKET」

沖縄大交易会に参加するサプライヤーに、B to BのみならずB to C（Business to Customer）ビジネスの実践の場を提供し、アジアへのおとりよせ



〔調理を行うシェフのスミス氏〕

（国際宅配）ビジネス展開の一助とすることを目的とした「OTORIYOSSEMARKET事業※」を実施しました。モデル的な仕向け地として適切な香港向けおとりよせ商品を集めた展示・試食ブース「OTORIYOSSEMARKET」を沖縄大交易会会場内に設置し、これらの展示商品を香港ECサイト「Fingershopping」に掲載するとともに、香港の消費者の購入動向を調査しました。また、日本の食に関心の高い人気ブローガー、シェフ、メディア関係者を香港から招聘し、おとりよせ商品を実際に見ていただきました。ブローガーは商品の試食や商品紹介を受けるほか、シェフはその場で素材を使って調理をするなど、商品の魅力を熱心に



〔熱心に商品の話を聞く香港ブローガー達〕



〔香港ブローガー等との意見交換〕

確かめていました。

今回の「OTORIYOSSEMARKET」の商品では、車海老や北海道海鮮鍋セット、天然だしなどが好評でした。香港では外食が中心で自宅で料理を行う人は少ないといわれておりますが、最近では料理を行うことも楽しみの一つとして定着しつつあります。そのためか、自分の料理を自分流にアレンジしワンランクアップできる日本の素材・商品が今回は好まれていました。会場で品定めをしているブローガーが気に入った商品をSNSで紹介すると、「いいね」が殺到し、ブローガーによる口コミ効果と香港人の日本の食への関心

の高さがうかがえました。

「Fingershopping」で注文された商品は、ANAとヤマト運輸の物流ネットワークにより、那覇空港での通関を経て香港消費者の自宅まで届けられます。ECサイトへの掲載手続きや通関業務はヤマト運輸が代行するため、海外取引に不慣れな中小・小規模企業や農林水産業者にとって取り組みやすく、今後BtoCビジネスが海外展開の足掛かりとなることが期待されます。

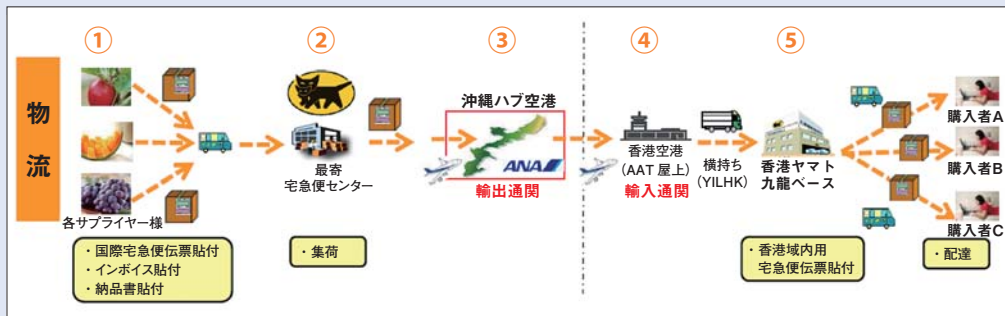
※「OTORIYOSÉマーケット」は、(株)パム地域産業研究所に委託して実施しております。



香港ECサイト「Fingershopping」 <http://www.fingershopping.com/>

●第2回アジアビジネス戦略連携会議

オールジャパンでアジアへアプローチする方策を検討し、地域間連携を促進することを目的に、「第2回アジアビジネス戦略連携会議」を開催しました。同会議には、中小企業庁や各経済産業



香港BtoCビジネスを支える物流の仕組み（提供：ヤマト運輸株式会社）

局、自治体、金融機関等が参加し、それぞれの海外展開に関する取組の発表や意見交換の他、沖縄大交易会会場や那覇空港新貨物ターミナルビル視察を行い、沖縄の国際物流ハブ拠点としての可能性について理解を深めました。



〔那覇空港新貨物ターミナルビル視察〕



〔第2回アジアビジネス戦略連携会議〕

●沖縄の伝統工芸品の広報について

沖縄大交易会には国内外から多くの来場者があることから、経済産業大臣指定の伝統工芸品である「琉球びんがた」及び「読谷山花織」を着用し、沖縄の伝統工芸品の魅力を紹介しました（協力：やふそ紅型工房、読谷山花織協同組合）。



〔読谷山花織〕



〔琉球びんがた〕

●結びに

沖縄総合事務局は、沖縄の持つ様々な強みである「沖縄力」をいかし、交易・交流拠点としての機能強化と更なる発展を遂げるべく、今後も積極的に取り組んでまいります。